

期 間 入 札 の 公 告

令和 7 年 7 月 3 日

横浜地方裁判所第 3 民事部

裁判所書記官 福 島 純 平

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 7 年 8 月 5 日から 令和 7 年 8 月 12 日 午後 5 時 00 分まで
開札期日	日 時 令和 7 年 8 月 19 日 午前 10 時 00 分 場 所 横浜地方裁判所売却場
売却決定 期日	日 時 令和 7 年 9 月 1 日 午後 1 時 10 分 場 所 横浜地方裁判所第 3 民事部
特別売却 実施期間	令和 7 年 8 月 25 日 午前 10 時 00 分から 令和 7 年 8 月 25 日 午後 3 時 00 分まで
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所所定の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、株式会社商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限 (民事執行規則 33 条)	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 7 年 7 月 3 日から当庁物件明細等閲覧室に備え置きます。	



物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和6年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1	7,340,000. 5,872,000		1,468,000	35,162	5,023
	</				



物 件 目 録

1 (一棟の建物の表示)

所 在 海老名市国分南三丁目 8 6 5 番地 1、2 1 番地 3

建物の名称 ファーストクラス海老名第 3

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 国分南三丁目 8 6 5 番 1 の 3 0 7

建物の名称 3 0 7 号

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造 1 階建

床 面 積 3 階部分 3 0 . 6 3 平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 海老名市国分南三丁目 8 6 5 番 1

地 目 宅地

地 積 3 3 7 . 3 8 平方メートル

土地の符号 2

所在及び地番 海老名市国分南三丁目 2 1 番 3

地 目 宅地

地 積 4 4 . 5 2 平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 6 万 8 7 1 6 分の 3 0 6 3



物 件 目 録

土地の符号 2

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 6万8716分の3063



物 件 明 細 書

令和 7年 4月22日

横浜地方裁判所第3民事部

裁判所書記官 福 島 純 平

1 不動産の表示

【物件番号1】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号1】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

【物件番号1】

管理費等の滞納あり。

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等が全て本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」を御覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。



物 件 目 録

1 (一棟の建物の表示)

所 在 海老名市国分南三丁目 8 6 5 番地 1、2 1 番地 3

建物の名称 ファーストクラス海老名第 3

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 国分南三丁目 8 6 5 番 1 の 3 0 7

建物の名称 3 0 7 号

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造 1 階建

床 面 積 3 階部分 3 0 . 6 3 平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 海老名市国分南三丁目 8 6 5 番 1

地 目 宅地

地 積 3 3 7 . 3 8 平方メートル

土地の符号 2

所在及び地番 海老名市国分南三丁目 2 1 番 3

地 目 宅地

地 積 4 4 . 5 2 平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 6 万 8 7 1 6 分の 3 0 6 3



物 件 目 録

土地の符号 2

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 6万8716分の3063



令和 6年(ヌ)第 192号
令和 7年 1月17日受理
令和 7年 2月27日提出

現況調査報告書

横浜地方裁判所

執行官 中村 洋一

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

1 (一棟の建物の表示)

所 在 海老名市国分南三丁目 8 6 5 番地 1、2 1 番地 3

建物の名称 ファーストクラス海老名第 3

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 国分南三丁目 8 6 5 番 1 の 3 0 7

建物の名称 3 0 7 号

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造 1 階建

床 面 積 3 階部分 3 0 . 6 3 平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 海老名市国分南三丁目 8 6 5 番 1

地 目 宅地

地 積 3 3 . 7 . 3 8 平方メートル

土地の符号 2

所在及び地番 海老名市国分南三丁目 2 1 番 3

地 目 宅地

地 積 4 4 . 5 2 平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 6 万 8 7 . 1 6 分の 3 0 6 3

(/ - / 枚目)



物 件 目 録

土地の符号 2

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 6万8716分の3063



不動産の表示	「物件目録」のとおり	
住居表示	神奈川県海老名市国分南三丁目4番17-307号	
建物	物件1	
種類、構造及び床面積の概略	☒ 公簿上の記載とほぼ同一である ☐ 公簿上の記載と次の点異なる (☐ 主たる建物 ☐ 附属建物) ☐ 種類: ☐ 構造: ☐ 床面積:	
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ ある 種類: 構造: 床面積: {	
占有者及び占有状況	☒ 建物所有者 ☐ その他の者 上記の者が本建物を 居宅 として使用している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり	
管理費等の状況	☒ 別紙回答書記載のとおり 管理費 円 修繕積立金 円 組合費 円 円	平成 年 月分まで ☐ 滞納はない ☐ 滞納がある 計 円 ☐ 不明
管理費等照会先	弁護士法人マンションパートナーズ (ファーストクラス海老名第3管理組合 代理人)	
その他の事項		
敷地権	符号1, 2	
現況地目	☒ 宅地 (符号1, 2) ☐ 公衆用道路 (符号) ☐ (符号)	
形状	☐ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☒ 建物図面 (各階平面図) のとおり ☐ 土地建物位置関係図のとおり ☐ 地図に準ずる図面のとおり	
敷地権の種類	☒ 所有権 (符号1, 2) ☐ 地上権 (符号) ☐ 賃借権 (符号) ☐ (符号)	
その他の事項		
執行官保管の仮処分	☒ ない ☐ ある 地方裁判所 支部 平成 年 () 第 号 保管開始日 平成 年 月 日	
敷地権以外の土地 (目的外土地)	☒ ない ☐ ある (詳細は「目的外土地の概況」のとおり)	
土地建物の位置関係	☒ 建物図面 (各階平面図) のとおり ☐ 土地建物位置関係図のとおり	

(注) チェック項目中の調査結果は, 「☒」の箇所の記載のとおり
(2 枚目)

令和 6 年 (ケ・㊟) 第 192 号
担当執行官 中 村 洋 一

所有者 ()

回 答 書

(該当事項の□に「✓」印を付してください。)

1 管理費等の額及び滞納額は次のとおりです。

※管理規約、集会決議等で、区分所有法により特定承継人行使できる債権とされたものを記載してください。

令和 7 年 1 月 27 日現在

☒ 管理費	月額	9,000 円	☒ 滞納額	290,950 円
☒ 修繕積立金	月額	5,000 円	☒ 滞納額	144,935 円
☒ 違約金	月額	円	☒ 滞納額	444,507 円
☐	月額	円	☐ 滞納額	円
☒ 損害金	年	10 %	☒ 金額	16,372 円
☒ 滞納期間	平成 29 年 7 月分～平成 7 年 2 月分 令和			

2 上記 1 以外の特定承継人行使できない債権で、徴収されている費用は次のとおりです。

☐	月額	円	☐ 滞納額	円
☐	月額	円	☐ 滞納額	円
☐	月額	円	☐ 滞納額	円

3 管理費、修繕積立金以外について、特定承継人行使できる債権であることを定めた次の資料 (コピー) を提出する。

☒管理規約 ☐議事録 ☐

(関係人の陳述等用)

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
■ A (債務者)	1 私が単身で住んでいます。 2 ペットは飼っていません。 3 室内に雨漏りや水漏れはありません。
執行官の意見	
1 室内外の状況は添付写真のとおりで、床・壁・天井・建具等すべてに関し、使用態様や経年劣化等による汚損が激しく見受けられた。 2 本件一棟の建物も、共用廊下のクロスの剥がれなど、汚損が多数見受けられた。 3 敷地の西側の道路は、評価人の調査によれば、市道で建築基準法第42条1項道路である。 4 その余は関係人の陳述のとおり。	

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(調査経過用)

調 査 の 経 過		
調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
7年 1月21日 (火) 9 : 25 - 9 : 40	目的物件所在地	施錠不在、外観調査、通知書投函
7年 1月21日 (火)	執行官室	管理費等電話照会 (その後 F A X)
7年 1月28日 (火) 8 : 40 - 8 : 55	目的物件所在地	施錠不在、再度の通知書投函
7年 2月20日 (木) 17 : 10 - 17 : 45	目的物件所在地	解錠、室内立入調査、評価人同行 債務者と面談
年 月 日 () : - :		
年 月 日 () : - :		
年 月 日 () : - :		
(特記事項) ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。 ☒ 令和 7年 2月20日 目的物件はインターホンを鳴らし、ドアをノックしても応答がなく、施錠されていたので、立会人Bを立ち会わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入ったところ、債務者Aが在室していた。 ☐ 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(5 枚目)

登記年月日：平成8年11月27日

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
令和6年11月19日 横浜地方方法務局大和出張所 登記官

(6 枚目)

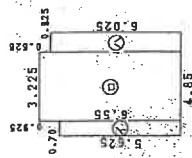
地図整理番号：M22712

640089 各階平面図

建物図面 各階平面図

家屋番号 国分南三丁目
865-1の307

建物の所在 町若名市国分南三丁目2-1番地3、865番地1



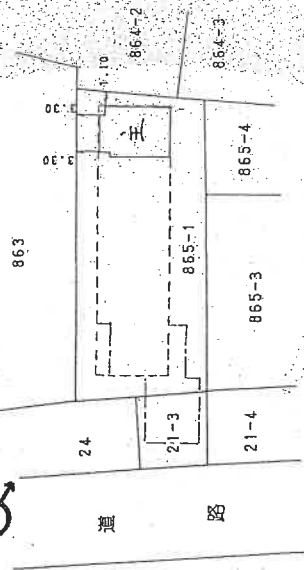
求積表

①	0.70 × 5.625 =	3.9375
②	3.225 × 6.555 =	21.1238
③	0.955 × 6.035 =	5.7731
計		30.6344

床面積 30.63㎡



道 路



建物の存する部分3階

平成8年11月27日

(日誌)

縮尺 1/500

申請人

縮尺 1/250

作製者 土井 家

(日本土地家屋調査士会連合会印)

間取図

○は写真撮影位置・方向



令和6年（又）第192号

①



②



(8 枚目)

③



④



(9 枚目)

令和 6 年（ヌ）第 192 号

令和 7 年 2 月 20 日 現地調査

令和 7 年 3 月 2 日 評価

横浜地方裁判所

評 価 書

評価人 不動産鑑定士

栗山 亮

印

第1 評価額

物件番号	評 価 額
1	金 7, 340, 000 円

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約(売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件の内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等)等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

番 号	登 記	現 況
1	次頁物件目録記載のとおり	(住居表示) 国分南三丁目4番17-307号
特 記 事 項		

*現況欄に記載のない事項については、ほぼ登記記載と同じである。

物 件 目 録

1 (一棟の建物の表示)

所 在 海老名市国分南三丁目865番地1、21番地3

建物の名称 ファーストクラス海老名第3

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 国分南三丁目865番1の307

建物の名称 307号

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造1階建

床 面 積 3階部分 30.63平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 海老名市国分南三丁目865番1

地 目 宅地

地 積 337.38平方メートル

土地の符号 2

所在及び地番 海老名市国分南三丁目21番3

地 目 宅地

地 積 44.52平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 6万8716分の3063



物 件 目 録

土地の符号 2

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 6万8716分の3063



第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等 (土地の符号1、2)

位 置 ・ 交 通	小田急小田原線「海老名」駅の南東方約920m (道路距離) (附属資料「位置図」参照)	
付 近 の 状 況	マンションや一般住宅のほか、店舗等も見られる地域	
主 な 公 法 上 の	都 市 計 画 区 分	市街化区域
規 制 等	用 途 地 域	第1種中高層住居専用地域
(道路の幅員等	建 蔽 率	60%
の個別的な規制	容 積 率	200%
を考慮しない	防 火 規 制	準防火地域
一般的な規制)	そ の 他 の 規 制	埋蔵文化財包蔵地内 (海老名市No. 54)
画 地 条 件	地 積	381.90㎡ (土地の符号1、2の合計)
	形 状	不整形
	間 口 ・ 奥 行	間口約6.5m、奥行約35m
	地 勢	宅盤面は概ね平坦である。
接面道路の状況	西側幅員約8.5mの舗装市道 (建築基準法第42条1項) に約6.5m接面する。	
土地の利用状況等	対象専有部分を含む一棟の建物の敷地等として利用されている。	
供 給 処 理 施 設	上 水 道	あり
	都 市 ガ ス	接面道路にガス管は埋設されているが、プロパンガスを使用
	下 水 道	あり
敷 地 権 の 表 示	敷 地 権 の 種 類	所有権
	敷 地 権 の 割 合	6万8716分の3063
特 記 事 項	西側一部を除き、埋蔵文化財包蔵地内 (海老名市No. 54) に該当する。	

2 建物の概況

(1) 一棟の建物の概要

マンション名	ファーストクラス海老名第3	
建物の用途	住宅等（総戸数18戸）（登記記載）	
建築時期及び経済的 残存耐用年数	建築年月日	平成8年11月20日（登記記載）
	経過年数	約29年
	経済的残存耐用年数	約21年
構造・延床面積	鉄筋コンクリート造4階建 延べ753.81㎡	
仕様	屋根：陸屋根 外壁：タイル貼 その他：なし	
設備等	オートロック、集合郵便受、駐車場、ゴミ置場等	
建物の品等	使用資材	普通
	施工	普通
管理の形態等	管理組合	あり
	管理方式	全部委託
	管理会社	株式会社fourlist
	管理形態	巡回
管理の状況	やや劣る	
特記事項	◇エレベーターがない。 ◇共用廊下の床材（エンボス床）には、浮いている箇所や剥がれている箇所が見られた。	

(2) 専有部分の概要

構	造	鉄筋コンクリート造 1階建				
位	置	3階 （307号室） 主要開口部の方位： 南向き 角部屋				
床	面	積	30.63㎡ （登記面積）			
間	取	り	2K			
バルコニー等		バルコニー：6.50㎡				
仕	様	天	井	ビニールクロス貼等		
		床		フローリング、畳等		
		内	壁	ビニールクロス貼等		
		設	備	ユニットバス、トイレ、キッチン等		
		そ	の	他		
保守管理の状態		普通				
管	理	費	等	管理組合代理人の回答によれば下記のとおり		
				令和 7 年 1 月 27 日 現在		
					月額	滞納額
				管 理 費	9,000円	290,950円
				修 繕 積 立 金	5,000円	144,935円
				違 約 金		444,507円
備	考	年10.0% の 遅延損害金の規定あり 遅延損害金16,372円				
専 有 部 分 の 利 用 状 況 等		令和7年2月20日：内部立入調査 建物所有者が占有している。				
特 記 事 項		◇室内に雨漏りや水漏れはないとのことである。 ◇喫煙によるものと思われる壁クロス等の黄ばみが見られた。 ◇室内には、経年に伴う劣化や使用態様による汚損等が認められた。				

第5 評価額算出の過程

本件においては積算価格、比準価格及び収益価格をそれぞれ求め、試算価格を調整のうえ、評価額を後記のとおり決定した。

1 積算価格の試算

建物の価格に、敷地権価格を加算して、積算価格を試算した。

(1) 建物価格

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて建物価格を求めた。

再調達原価 (円/㎡)	専有面積 (㎡)	専有率	現価率	建物価格 (円)
300,000	× 30.63	÷ 0.91	× 0.29	= 2,930,000

専有率

- ・ 共用部分も含む現況床面積に対する割合

現価率

： 経過年数 29年 、 経済的残存耐用年数 21年

観察減価率(中古マンションの市場性等を含む) 30%

： 耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用し、現価率を下記のとおり査定した。

$$\text{現価率} = \frac{\text{経済的残存耐用年数 } 21\text{年}}{(\text{経過年数 } 29\text{年} + \text{経済的残存耐用年数 } 21\text{年})} \times (1 - 0.3) = 0.29$$

(2) 敷地権価格 (符号 1、2 の土地)

敷地権の目的である土地の敷地権価格を次のとおり求めた。

標準画地価格 (円/㎡)	個別格差	更地価格 (円/㎡)	地 積 (㎡)	建 付 減 価	敷地権割合	敷地権価格 (円)
279,000	× 1.05	293,000	× 381.90	× 1.0	$\times \frac{3,063}{68,716}$	= 4,990,000

標準画地価格 : 標準画地価格は下記の規準価格を中心に、その他の価格資料等を斟酌して決定した。

公示地 海老名5-3

$$\begin{array}{ccccccc} \text{公示地価格} & & \text{時点修正} & & \text{標準化補正} & & \text{地域格差} & & \text{標準画地価格} \\ 300,000\text{円/㎡} & \times & \frac{106}{100} & \times & \frac{100}{100} & \times & \frac{100}{114} & = & 279,000\text{円/㎡} \end{array}$$

◇ 時点修正 : 令和6年1月1日から評価日までの推定変動率である。

◇ 標準化補正 : 公示地は、標準的画地で補正の必要はない。

◇ 地域格差 : 公示地の所在する地域は、対象地域に比べ、接近条件、街路条件、環境条件、行政条件等の総合格差で上記のとおり

個別格差 : 不整形、埋蔵文化財包蔵地内で劣るが、マンション適地で優り、総合格差で上記のとおり

地積 : 登記数量

建付減価 : 建付減価率 0%と判定した。

敷地権割合 : 登記上の敷地権割合による。

(3) 積算価格（敷地権付建物の価格）

前記で求めた基礎となる建物価格と敷地権価格を合算した額に、所要の修正を行った上、積算価格を求めた。

建物価格（円）	敷地権価格（円）	個別格差 (階層・位置・品等程度)	積算価格（円）
2,930,000	+ 4,990,000	× 1.02	= 8,080,000

個別格差：階層別補正、位置別補正などの総合格差で上記のとおり

階層別補正：0.99（3階部分）307号室

位置別補正：1.03（南向き、角部屋）

その他補正：1.00

相乗積 $0.99 \times 1.03 \times 1.00 = 1.02$

2 比準価格の試算

基準階の比準価格 (円/㎡)	個別格差 (階層・位置・品等程度)	その他の 個別格差	専有面積 (㎡)	比準価格 (円)
405,000	× 1.02	× 0.95	× 30.63	= 12,020,000

基準階の比準価格：近隣地域・同一需給圏内の類似地域にある同類型の区分所有建物の取引事例等を収集・分析し、各種補正及び価格形成要因の比較を行って、基準階専有部分の1㎡当たりの比準価格を査定した。

個別格差：積算価格の個別格差に同じ

その他の個別格差：室内の汚損状況から、-5%と査定した。

3 収益価格（DCF法による）

対象不動産を賃貸することにより分析期間中に得られるであろうと予測される正味純収益の現価の合計額に、分析期間末の正味復帰価格の現価を加算してDCF法(Discounted Cash Flow法)による価格を以下のとおり査定した。

DCF法による価格査定表

(この表で採用している数字や指数は確定値ではなく、且つ買受人に保証しているものでもない)

3年間の 有効純収益 現価の合計	正味復帰価格の現価					DCF法 による価格
	4年目期首 有効純収益	最終 還元 利回り	3年目期末 復帰価格 (円)	複利 現価率 ※2 (7.7%)	正味復帰 価格の現価 (円)	
(円) ア	(円) イ	ウ	$\text{イ} \div \text{ウ} \times (1 - 0.03) \times 1$ エ	オ	$\text{エ} \times \text{オ}$ カ	$\text{ア} + \text{カ}$ キ
1,016,292 (16.3%)	550,500	8.2%	6,512,012 = 6,510,000	0.8005	5,211,255 (83.7%)	= 6,230,000 (100%)

※1 売却に要する仲介手数料等を売却価格（イ÷ウ）の3%と査定した。

※2 複利現価率：複利現価率に用いる還元利回りは一般市場における収益物件の標準的な還元利回りを基準として決定した。

ア：目的物件を賃貸することにより保有期間中（第1期～第3期）に得られるであろうと予測した各期の正味純収益を複利現価率で現在価値に割り戻した額の合計である。

イ：保有期間末（第4期期首）の正味純収益である。売却準備完了後の目的物件の収益力を明示している。

ウ：4年目の正味純収益から売却予測価格を求める還元利回りであり、標準的還元利回りに対象不動産の個別リスクを考慮して査定した。

エ：4年目の正味純収益を最終還元利回りで還元して求めた売却予測価格から対象不動産の売却に伴う仲介手数料相当額を控除した額である。

オ：一般市場及び競売市場における類型別収益物件の標準的な還元利回り等を参考に査定した。

カ：売却予測価格の手取り価格に複利現価率を乗じて(割り引いて)求めた売却予測価格(手取り価格)の現在価値である。

キ：保有期間中の正味純収益の現価の合計(ア)に売却予測価格の現価(カ)を合算して、目的物件のDCF法による収益価格を結論付けている。

4 評価額の判定

(1) 試算価格の調整

以上により積算価格、比準価格、収益価格が求められた。マンション取引が比較的多くみられることから、市場の実勢を反映した比準価格を重視し、積算価格を関連づけ、収益価格を参考として、所要の調整を行ったうえ、調整後の価格を以下のとおり求めた。

加重平均割合 積算価格：40 比準価格：50 収益価格：10

	占有減価修正前 の試算価格 (円)	占有減価修正	試算価格 (円)
積算価格	8,080,000	× 1.00	= 8,080,000
比準価格	12,020,000	× 1.00	= 12,020,000
収益価格			6,230,000
調整後の価格			9,870,000

占有減価修正：なし

(2) 評価額の判定

調整後の価格 (円)	市場性 修正率	競売市場 修正	滞納管理 費等相当 額の減価	その他の 控除減価 (敷金等)	評価額 (円)
9,870,000	× 1.00	× 0.80	× 0.93	- 0	= 7,340,000

市場性修正：不要と判定した。

競売市場修正：評価条件記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した。

滞納管理費等相当額の減価：滞納管理費等の控除割合は管理費・修繕積立金
滞納額の元本のみを基礎に 7% と求めた。

その他の控除 (敷金等)：不要と判定した。

第6 参考価格資料

- 1 公 示 地 : 海老名5-3
所 在 : 海老名市中央二丁目138番4 「中央2-8-41」
価 格 : 300,000円/㎡
位 置 : 小田急小田原線「海老名」駅 600m
価 格 時 点 : 令和 6 年・1 月 1 日
地 積 : 230㎡
供給処理施設 : 水道、ガス、下水
接 面 街 路 : 南側16m市道
用 途 指 定 等 : 商業地域、防火地域
(建蔽率 80% 、 容積率 400%)
地 域 の 概 要 : 中高層の店舗、事務所ビルが建ち並ぶ商業地域

2 固定資産税評価額 (令和 6 年度)

- 物件1 (建物) 2,511,600円
符号1 (土地) 53,000,036円 (敷地権の割合 68,716分の 3,063)
符号2 (土地) 6,993,780円 (敷地権の割合 68,716分の 3,063)

第7 附属資料の表示

位置図

公図写

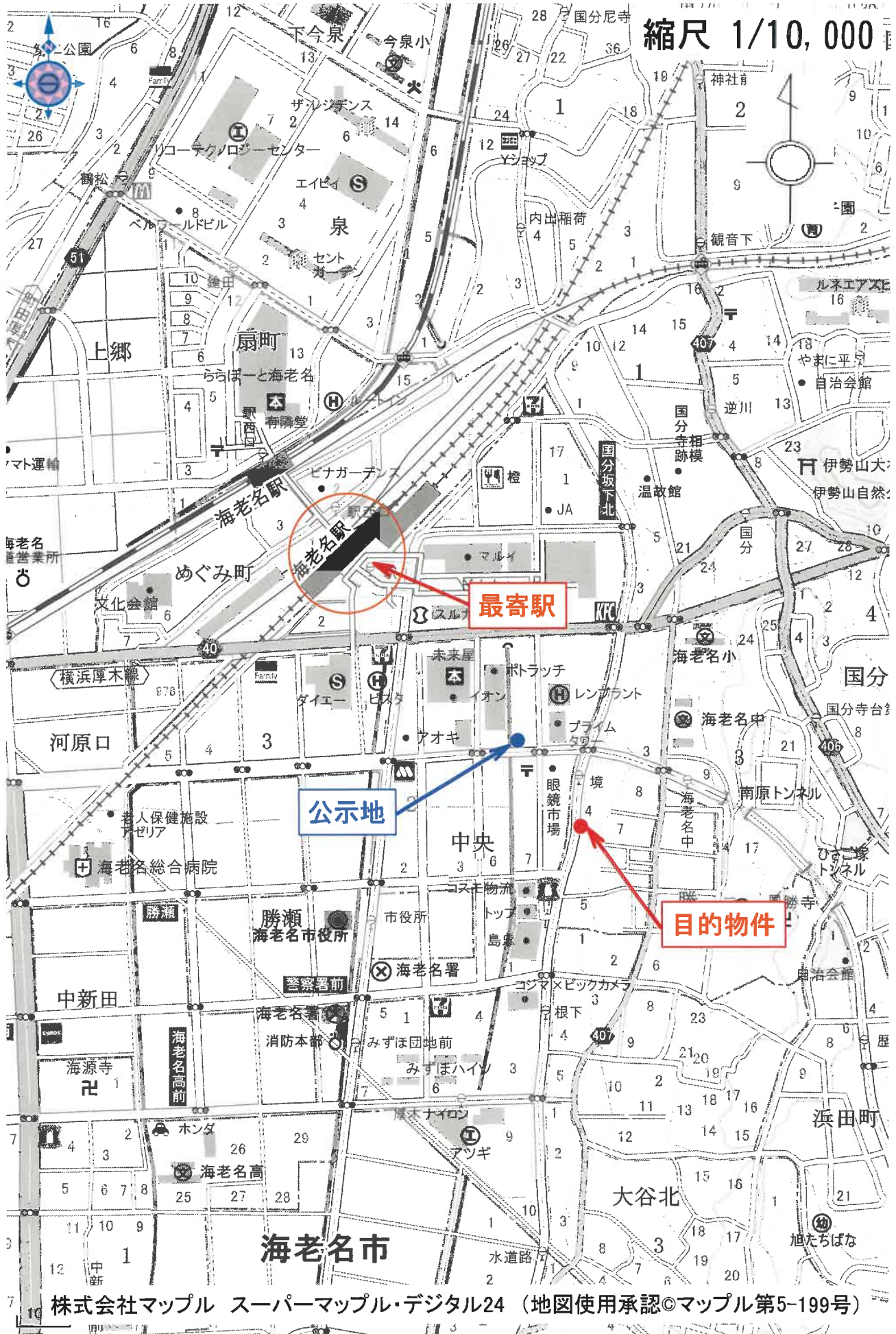
建物図面・各階平面図写 (A 3 判からA 4 判へ縮小)

間取図

以上

位置図

縮尺 1/10,000



株式会社マップル スーパーマップル・デジタル24 (地図使用承認©マップル第5-199号)

登記年月日：平成8年11月27日

令和6年11月19日
横浜地方法務局士和出張所

登記官

建物図面・各階平面図（写）

【本図面はA3判からA4判へ縮小したものである】

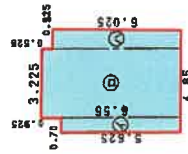
建物図面 各階平面図

家屋番号
865-10307

建物の所在
町老名市田分南三丁目2番地3、865番地1

各階平面図

640089

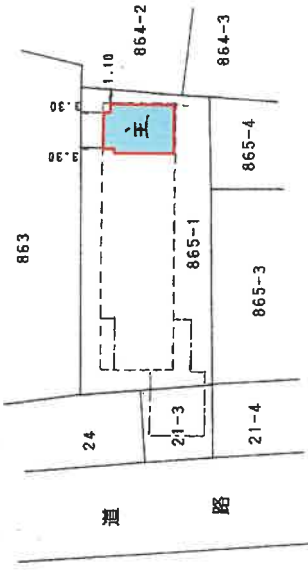


物件1 専有部分

求積表

①	0.70 x 5.625	=	3.9375
②	3.225 x 6.55	=	21.1238
③	0.525 x 6.025	=	3.1631
計			30.6344

床面積 30.63㎡



建物の存する部分3階

作製者

縮尺

1/250

申請人

縮尺

1/500

(日本土地家屋調査士会連合会用紙)

地図整理番号：M22712

間 取 図



令和6年（ヌ）第192号